### LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム (Local Action Plan Supporting System)

操作勉強会(初級編)

### 2024年 7月 株式会社 野村総合研究所

- ■本日はLAPSSの操作勉強会(初級編)にご参加いただきありがとうございます。 勉強会に先立ち事前に以下の注意事項をご確認ください。
- 本勉強会の資料は、参加登録いただいたご担当者様宛にお送りしたメールにて事前共有しております。必要に応じてお手元のPCにも資料をご用意の上、ご参加ください。
- また、事務局の説明に合わせて、お手元でLAPSSを操作していただくことで理解が深まるかと存じます。ご用意できる方は是非LAPSSを操作いただける状態でご参加いただけますと幸いです。
- なお、本勉強会の内容は後日環境省HPにて動画での配信を予定しております。 適宜ご活用ください。

https://www.env.go.jp/policy/local\_keikaku/shien4.html

本勉強会の最後に、参加者の皆様からのご質問をお受けする質疑応答の時間を設けております。 ご質問がある場合は、配信画面内にある「Q&A」欄に質問内容を入力の上、送信してください。 お寄せいただいたご質問の中から、事務局より適宜ご回答いたします。なお、当日の進行状況等 の理由により、すべてのご質問にはお答えできない可能性がございますので、予めご了承ください。 お答えできなかったご質問については、後日LAPSS掲示板にてご回答させていただきます。 なお、本日の質疑応答の内容については、後日環境省HPにて掲載いたします。適宜ご活用ください。

### 本勉強会の趣旨説明

- 環境省では、地方公共団体実行計画(事務事業編・区域施策編)の策定、温室効果ガス総 排出量の算定・管理の支援等を目的とした『地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム「LAPSS(ラップス)」』を開発しています。
- LAPSSは、地方公共団体の職員の皆様のご負担(地方公共団体実行計画の策定、進捗管理の効率化等)を軽減していくことを目的としております。
  本勉強会では、
  - 既にLAPSSの利用登録をいただいている地方公共団体の職員の皆様におかれましては、 LAPSS のさらなる積極的な利用・活用促進を図っていただく
  - 新たにご登録いただいた地方公共団体の職員の皆様におかれましては、今後の利用・活用 に活かしていただく
  - ために、LAPSSの機能のうち、より多くの団体にご活用いただいている機能や本格利用後にご活用いただきたい機能について、ご説明させていただきます。
- 本勉強会の最後には質疑・応答の時間も設けておりますので、LAPSSを使用している中でのお悩みやご要望等をお寄せいただけますと幸いです。
- なお本勉強会は、環境省大臣官房地域脱炭素政策調整担当参事官室から調査を受託している野村総合研究所が実施いたします。

### 本勉強会の位置付け

- 本勉強会では、既にLAPSSをご利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSの機能を最低限把握しておきたいという方々を対象に、LAPSS本格利用後にご活用いただきたい機能等のご紹介をさせていただきます。
- また、より詳細・発展的な内容を含む操作勉強会(中級編)の開催も予定しておりますので、 ステップを踏んでLAPSSの使い方をマスターしていただけます。



- LAPSSの利用をご予定・ご検討いただいている地方公共団体の職員の皆様を対象に、LAPSS利用のメリットや主要な機能、利用事例のご紹介、LAPSS導入までの流れについてご説明いたします。
- 既にLAPSSを利用いただいている 地方公共団体の職員の皆様のう ち、LAPSSの機能を最低限把握し ておきたいという方々を対象に、本 格利用後にご活用いただきたい LAPSSの基本的な機能の紹介・ 操作デモを行います。
- 既にLAPSSを利用いただいている 地方公共団体の職員の皆様のう ち、LAPSSを使いこなしたいという 方々を対象に、より発展的な LAPSSの機能の紹介・操作デモを 行います。



- 地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム P.6 ~ P.28 (LAPSS)機能のご紹介
  - 実行計画(事務事業編)に係る機能
     P.7 ~ P.22
     実行計画(区域施策編)に係る機能
     P.23 ~ P.28
- 2. 地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム P.29 ~ P.30 (LAPSS)の簡易操作説明
- 3. 質疑応答

### LAPSS

# 地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム (LAPSS)機能のご紹介

### LAPSS機能のご紹介 実行計画(事務事業編)の策定・運用に係る業務とLAPSS機能



LAPSS機能のご紹介	
LAPSSの機能	
マスタデータの 一括登録機能	✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録
実行計画策定 支援機能	<ul> <li>✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力</li> <li>✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能</li> </ul>
▶ 脱炭素に資する 措置の設定機能	✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定 →措置分類、削減目標、導入費用等を管理
★ 活動量データ 登録機能	✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ(実績値)を登録 ※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能
他団体比較機能	✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能
★ 排出量・活動量 算定・集計機能	<ul> <li>✓ 排出量・活動量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能</li> <li>✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能</li> <li>✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能</li> <li>✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能</li> </ul>
措置の自己評価・ 点検結果登録機能	✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施
▶ 入力依頼・督促 メール配信機能	✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信
掲示板閲覧・ 投稿機能	✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした 団体内掲示板機能を利用可能

### 1. 【事前準備】マスタデータの一括登録機能

◆ LAPSS利用開始団体における課題



マスタデータ(部局・課室、施設・設備情報)や施設・設備の過去実績値の初期登録、LAPSSへの データ移行に手間がかかる

LAPSSに掲載されている専用Excelツール(VBA)を使用することで、マスタデータ、実績値を一括で登録する ことが可能です。



#### マスター括登録、実績値一括登録機能利用におけるワークフロー

### 1. 【事前準備】マスタデータの一括登録機能

#### ◆ 一括登録と個別登録の比較

	一括登録	個別登録
機能概要	基礎情報(部局、課室、施設・設備、アカウント)を <u>複数まとめて登録</u> する	基礎情報(部局、課室、施設・設備、アカウント)を <u>一つ一つ登録</u> する
登録方法	LAPSSの「マスタ設定」>「マスタデータの一括登録を 行う」からダウンロードした <u>一括登録ツール(Excel)</u> に データを入力した上で、LAPSSにアップロードする	LAPSSの「マスタ設定」>「部局を設定する」/「課室を 設定する」/「施設・設備を設定する」/「ユーザーアカウン トを設定する」から、LAPSSの画面上で個別に登録す る

ー括登録の場合、ツール(Excel)上で新たに 登録したい項目全てを入力し、LAPSSにアップ ロードすることでまとめて登録することができる。	個別登録の場合、LAPSSの画面上で新たに登録したい項目を1つ1つ入力・登録する作業を繰り返す必要がある。
	・ 地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム
0         0	<ul> <li>▲ Home</li> <li>部局情報 登録</li> <li>&gt; 実行計画・描葉29 #</li> <li>必須な項目を入力してください。</li> </ul>
	目標     部属名 2021     部属名を入力       > 実結・点機結果入力     ユニークID 任意     ユニークIDを入力
14         Image: Second s	> 区域施筑編 → 施行状況再合
19         Image: Constraint of the second seco	→ お知らせ、アンケート等 ママスタ30定 割局を設定する
24 25 26 マシャンデータ入出力 ①即局 ②課査 ◎アカウント ◎施設設備等   エラー一覧   関連制度コード   施設・設備等分類コード	練室を設定する

ために計画の雛型が欲しい

2.

.

【PLAN】実行計画基礎情報登録機能

地方公共団体実行計画(事務事業編)の策定における課題

実行計画基礎 録可能です。	菅報登録機能を活用 登録された情報は <mark>帳票</mark>	すれば、フォーマットに沿ってフ として出力することもできます。	、力するだけで実行計 ,	†画に関する <mark>情報が登</mark>
<mark>実行計画基礎情報 登録</mark> 基本情報 必須な項目を入力してください。 実行計画名 <mark>必須</mark> 策定・改定年月 <mark>必須</mark> 計画期間 <mark>必須</mark>	実行計画名を入力 年を選訳 ◇ 年 月を選訳 ◇ 月 年を選訳 ◇ 年 月を選訳 ◇ 月 ~ 年を選訳 ◇ 年 月を選訳 ◇ 月	計画名称、計画期間、基準/ 目標年度、目標年度温室効果 ガス排出量等を登録することが できます。	<ol> <li>基本的事項         <ol> <li>(1) 目的                 ○○町地球温暖化対策実行計画(事務事業) は、地球温暖化対策の推進に関する法律() 21条第1項に基づき、地球温暖化対策計画に し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量) 削減することを目的として策定するもので         </li> </ol></li></ol>	そのまま公表いただける形で 帳票出力可能です。
	例) 2017     年度 (25(8))       例) 1000     >-co2       例) 1000     >-co2	目的や温室効果ガスの排出状 況等、実行計画の関連情報の 登録も可能です。	<ul> <li>(2) 対象とする範囲</li> <li>○○町事務事業編の対象範囲は、○○町の:</li> </ul>	全ての事務・事業とします。
加速情報 <b>(本約事項</b> 目的 <b>(作品)</b> 対象とする範囲 <b>(作品)</b>		フォーマットに沿って必要事項を 入力した後、登録内容は帳票 出力することができるため、実行 計画の策定に係る負担を軽減 できます。	(3) 対象とする温室効果ガス 5 ○○町には下水処理施設や麻酔剤(突気ガ やN2O等の排出による影響は小さいと考えた る温室効果ガスは、地球温暖化対策 多くを占めている二酸化炭素(CO2)のみと	○ ス)を使用する大規模病院が存在しないため、CH4 れます。そのため、○○町事務事業編が対象とす 常2条第3項に掲げる?種類の物質のうち、排出量の します。

職員不足により、実行計画の策定に関する業務に十分な時間を割くことができない/業務負荷軽減の

### 3. 【PLAN】脱炭素に資する措置の設定機能

・脱炭素に資する措置の検討、実施における課題

施設管理部局の排出量は管理しているものの、温室効果ガスの排出削減のために取り組む措置について管理できていない

管理している施設・設備において、温室効果ガスの排出削減のために取り組む措置の内容の登録が可能です。施設ごとの措置設定内容はCSVファイルとして出力することもできます。

1 5 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1					
部門。必須	部門を選択 イ	選択可能な措置に	ついてはこちらを参照		
措置分類 <mark>必須</mark>	指置分類を選択 🗸 🖌				
	項目を選択 イ				
措置 <mark>必須</mark>	先ずに「措置分類」を選択してください。			施設・設	備ごとに、措置の実施時期・削減目
措置時期 <mark>必須</mark>	2023 💙 年 05 🗸 月 ~ 年を選択 💙 年	月を選択 🖌 月		標·具体	的内容を設定できます。
	措置時期は、実行計画の計画期間内で入力してください。 実行計画の計画期間:2021年04月 ~ 2026年03月				
削減目標 任意	例) 1000 kg-CO2 (0 t-CO2)		l r		
具体的な内容 <mark>必須</mark>	具体的な内容を入力			フォーマッ	トに沿って必要事項を入力した後、
				<b>豆</b> 琢内谷 <b>措置の第</b>	らは喉祟出刀することかでさるにめ、 「たに係る負担を軽減できます。
l			) [		
			キャンセル		

事務局

施設管理部局



理等支援システム						団体名:システム管理用 🛓 下水道部 下	水道第二拱テスト テストユーザ	ולידלים
月別実績値	入力							
入力対象 選択しま	<b></b> 後月を す。	年度 対象施設名 入力期間	2020 test 5 <b>~</b> 月	ΞR	<注意>前月値 ある場合は、「コメ」 認し、コメント欄に	(前年度値) と比較 ント」欄の入力が必要 増減の理由を記入し	とし、大幅な増 要です。内容を ってください。	減が :確
			5月				前月 (4月)	
項目分類	項目名	単位	前年度值	当年度值	金額 (円)	1 <xc< th=""><th>当年度磕</th><th>金額 (円)</th></xc<>	当年度磕	金額 (円)
燃料の使用(液体燃 料)	ガソリン(揮発油)	L						
絶料の使用(液体感 料)	: ガソリン   自動 車での使用	L						
地科の使用(液体燃 料)	: ガソリン 自動 車以外での使用	L						
入力対象 度値」の欄	月の活動 に入力して * 00%/8=	量を「当 てくださ	当年にい。				*	
営科の使用(英体営 料)	(液化石法ガス (LPG) ディーゼ ル機関で <del>防使用屋</del>	一覧に戻る			-6677	HE		
	入力? 「一時	を内容 存れ	を一時保 」ボタンをク	存する場合 リックして1	含は 下さい。	入力を終える場 ボタンをクリックし	合は、「確定」 て下さい。	

#### LAPSS機能のご紹介

### LAPSSの機能概要(事務事業編) New!

### 4. 【DO】活動量データの登録機能

事務局

施設管理部局

2024年3月より、活動量データの登録機能において、**団体独自の活動項目と排出係数を設定の上、活動量** データの登録が可能になりました。

独自項目 登録				
対象制度の独自項目、排出係数を登録しま 本画面で独自項目を登録後、他制度の関連 「当制度へ登録」ボタンが表示されます。	す。 制度別排出係数設定画面を開くと、本画面で登録した独自項目の行に 押下することで他制度の排出係数を登録することができます。			
必須な項目を入力してください。				
独自項目分類	燃料の使用(固体燃料)			
独自項目名称 必須	独自項目名称を入力		Г	
単位 必須	単位名称を選択	~		
集計分類 <mark>必須</mark>	集計分類を選択 ~		$\mathbf{i}$	日団体の独日頃日の名称や
表示順必須	表示順を入力	(整数を入力 ※入力例:10)		登録することで、当該項目について
総数項目フラグ ? 任意				活動量データを登録可能
対象制度	地方公共団体実行計画(事務事業編)(基礎排出係数)			
年度	2024			
排出係数 CO2(tCO2)				
CH4(tCO2)				
N2O(tCO2)				
HFC(tCO2)				
PFC(tCO2)				
SF6(tCO2)				
	一覧に戻る登録			

# 5. 【DO】入力依頼・督促メール配信機能 ◆ 活動量データの収集における課題

施設管理者からの活動量データの収集業務に手間がかかる
 (入力依頼、督促など)

期限までに入力されていない施設管理部局に対して入力依頼メールや督促メールを自動配信することが可能です。

実施依頼>	イール 設定	
通知必須	O ON OFF	
入力対象月 必須	☑ 4月 ☑ 5月 ☑ 6月 ☑ 7月 ☑ 8月 ☑ 9月 ☑ 10月 ☑ 11月 ☑ 12月 ☑ 1月 ☑ 2月	☑ 3月
入力期間 必須	翌月 21 日 ~ 30 日	
送信頻度必須	期限日以降 1 日間隔	施設毎の活動量データが期限までに入力さ
件名(依頼) 必須	実績入力のお願い【依頼】	れていない施設管理部局に対して、人力依頼・
本文(依頼) 必須	○○市 地域づくり課 各位 前月の実績入力をお願いします。	の工数の削減が可能。
件名(督促) <mark>必須</mark>	実績入力のお願い【再送】	
本文(督促) 必須	○○市 地域づくり課 各位 前月の実績入力時期を過ぎておりますのでご対応をお願いします。	
	登録	

## ★ 6.【CHECK】排出量算定・集計機能

▶ 排出量の算定・集計における課題

温室効果ガス排出量の算定・集計に手間がかかる 電気事業者等の排出係数が毎年変わるため、管理が手間

#### 条件(集計範囲、温室効果ガスの種類、集計方法)を組み合わせた集計・出力が可能であり、**排出量の** 推移・内訳を見える化することができます。 排出係数はLAPSSが標準装備しており、更新作業は不要(LAPSS側で自動更新)です。 基礎排出係数のほか、温対法・省エネ法等各種報告に必要な調整後排出係数もご利用いただけます。



施設管理部局

### ┣ 6.【CHECK】排出量算定·集計機能

2023年3月より、排出量算定・集計機能において、**団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度** からの削減率を一覧表示し、比較することが可能になりました。



#### LAPSS機能のご紹介

### LAPSSの機能概要(事務事業編) New!

### 6.【CHECK】排出量算定·集計機能

事務局

2024年3月より、排出量算定・集計機能において、部局/課室/施設別だけでなく、任意の施設グループを 設定することで、施設グループ別に集計することが可能になりました。

必須な項目を入力してください。		必須な項目を入力してください。		
施設グループ名称 必須	施設グループ名称を入力	施設名 <mark>说</mark>	<b>須</b> 施設名0430	
備者任意	備考を入力	施設分類(大分類) 🕺	<b>須</b> 供給処理施設	
		施設分類(中分類) 🕺	<b>須</b> 廃棄物処理施設	~
		施設管理課室 必	🧃 デジタル局 LAPSS課 変	更
江封昌や汨京計田		関連施設管理課室 f	<ul> <li>部局を選択 </li> </ul>	果室を選択
沽動重や温至効果    任音のグループデンに		施設グループ 2 日	斎 施設グループを選択 →	
施設リルーノを登録				
他設クルーノを登録				施設ごとに
他設クルーノを登録				施設ごとに 登録した <mark>施設グループを</mark>
施設クルーノを登録 排出量データ 集計(年度	5別)			施設ごとに 登録した <mark>施設グループを</mark>
施設ソルーノを登録 排出量データ 集計(年度	5別)			施設ごとに 登録した <mark>施設グループを</mark>
施設ソルーノを登録 排出量データ 集計(年度 <sub>対象制度</sub>	<b>夏月1)</b> 地方公共団体実行計画(事務事業編)(基礎排出係数)	~		施設ごとに 登録した <mark>施設グループを</mark>
施設ソルーノを登録 排出量データ 集計(年度 <sup>対象制度</sup> 実行計画	(長別)) (基礎排出係数) 第5期地球温暖化対策実行計画	~		施設ごとに 登録した <mark>施設グループを</mark>
<ul> <li>施設ソルーノを登録</li> <li>排出量データ 集計(年度)</li> <li>対象制度</li> <li>実行計画</li> <li>温室効果ガス</li> </ul>	を別)   地方公共団体実行計画(事務事業編)(基礎排出係数)   第5期地球温暖化対策実行計画   、   ※   ※   #   # </td <td><ul> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>(生計古)</li> </ul></td> <td>≠を「旃雲グⅡ⊃</td> <td>施設ごとに 登録した<mark>施設グループを</mark> <sup>9</sup>別リに設定</td>	<ul> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>(生計古)</li> </ul>	≠を「旃雲グⅡ⊃	施設ごとに 登録した <mark>施設グループを</mark> <sup>9</sup> 別リに設定
他設ソルーノを登録 排出量データ 集計(年度) 対象制度 実行計画 温室効果ガス 集計方法	を別) を別) をのかります。 をのかります。<	、 、 集計方 することで	去を「施設グル−フ	施設ごとに 登録した <mark>施設グループを</mark> <sup>?</sup> 別」に設定
<ul> <li>施設ソルーノを登録</li> <li>排出量データ 集計(年度)</li> <li>対象制度</li> <li>実行計画</li> <li>温室効果ガス</li> <li>集計方法</li> </ul>	EDJ) EDJ) E 地方公共団体実行計画(事務事業編)(基礎排出係数) 第5期地球温暖化対策実行計画 ※ 総排出量 ○ CO2 ○ CH4 ○ N20 ○ HFC ○ PFC ○ SF6 5 他設分類別 ○ 担当部局別 ○ 項目分類別 ● 施設グループ別 5 Aftリープ い	、 、 、 集計方 することで グループ	去を「施設グル−フ <sup>Ĩ</sup> 、 ごとの集計結果を	施設ごとに 登録した <mark>施設グループを</mark> <sup>2</sup> 別」に設定 <mark>表示可能</mark>

### 6.【CHECK】排出量算定·集計機能

### 事務局

2024年3月より、排出量算定・集計機能において、温室効果ガス排出量のみならず活動量データについて も、集計・グラフ表示・帳票出力が可能になりました。

#### 活動量データ 集計 (月次)

500

300 200 100

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月

8 400

	対象制度	地方公共団体実行計画(事務事業編)	(基礎排出係数) ・			
	集計年度	2020	✓ 年度			
	集計範囲	● 全ての施設 ○ 自部局が管理する施設	のみ 〇 自部局が関連する複合施設も含む 〇 施設グル-	プ		
			施設グループ分類 5 項目選択中	•		
	集計項目	ガソリン 🗸 単位:L		<	🤦 集計条件(対象	x制度、集計年度、
		集計項目の選択肢には、集計可能な項目	(※)のみ表示されます。		集計範囲、集計	方法等)を設定
		※集計される活動項目の単位が全 システムで等理している集計項目はこちら	て揃っている項目			
			21.0m			
	温至効果力ス	● 総排出量 ○ CO2 ○ CH4 ○ N2O	○ HFC ○ PFC ○ SF6			
	集計方法	● 施設分類別 ○ 担当部局別 ○ 施設ク	ブループ別 ?			
		施設之	ブループ分類 5項目選択中 🗸			
			集計			
		G	舌動量と排出量の集計仕様は <u>こちら</u> を参照)			
「動量						
時系列グラフ			構成比率グラフ			
800	_	前年	_	集会施設(市民文化系)	スポーツ施設 自動車	
700	-					

活動量の時系列グラフや

構成比率グラフを表示

### 7.【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能



▶ 関連制度の排出量算定における課題

(

省エネ法・温対法など、関連する法制度の温室効果ガス算定に係る作業負荷が大きい

省エネ法・温対法報告などに応じた排出量の算定が可能です。



### 〒7.【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

2023年5月より、省エネ法・温対法・フロン法の同時報告、及び、温室効果ガス排出に関する情報の統 合管理を可能とする新システム「省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム(EEGS)」に、LAPSSと のデータ連携機能が搭載されています。(※EEGS側での操作となり、LAPSS側での操作は不要) 地方公共団体が省エネ法・温対法の報告を行う場合は、LAPSSに入力したエネルギー使用量や活動量の 情報をEEGSにて取り込みの操作を行い連携することで、類似データの重複入力を避け、団体職員の報告に 係る事務負担を軽減できます。



#### LAPSSとEEGSの連携イメージ

### 8.【CHECK】措置の自己評価・点検結果登録機能

事務局

施設管理部局

▶ 措置の自己評価・点検における課題

温室効果ガス削減措置を設定しているものの、評価や点検の管理が できていない

実行計画策定時に設定した各施設設備の措置についても、活動量・排出量の管理と同様に、**年度ごとに取** 組状況の点検と自己評価を入力・管理することができます。

措置点検結果の入力			
各措置の点検(確認と見直し)を行い、。	点検完了コメントを入力して登録してください。		
実行計画	○○市実行計画(事務事業編)第7期計画		
点検年度	2024		
施設名	中部コミュニティセンター		
No. 措置分類	措置	自己評価	ā <mark>289.</mark> ?
温室効果ガスの排出の削減等 1 換気設備	に資する設備の選択   空詞設備・ エネルギー消費効率の高いモーターへの更新	4	~ 編集
	総合評価 必須 全体のうち80%のモーターを、エネルギー消費効率の高いそ 記入例	ミーターへ更新。	
	点検完了日 <mark>必須</mark> 2024/02/01		
	部局 必須 ●●部		措置ごとの自己評価と、総
	課室 必須 ▲▲局		入力し、管理することができ
	点検実施者 必須 飯田三郎		
	点検完了 🔽		
	一覧に戻る	登録	

### LAPSS機能のご紹介 実行計画(区域施策編)の策定・運用に係る業務とLAPSS機能



### LAPSS機能のご紹介 LAPSSの機能一覧(区域施策編) ※2024年7月時点

◆ LAPSSは、地方公共団体実行計画(事務事業編)における温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を主な目的として いますが、 **令和5年度から区域施策編にも対応**しました。



地域脱炭素化促進事 業に関する事項	✓ 促進事業の目標、促進区域の類型・ゾーニング情報、再エネ活用のため促進区域において整備する施設、地域の脱炭素化のための取組等の設定・管理

温室効果ガス削減に 向けた対策・施策の 設定支援機能	<ul> <li>✓ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定のための参考情報を提供</li> <li>✓ 設定した対策・施策の管理も可能</li> </ul>
----------------------------------	--



### 1. 実行計画策定支援機能

地方公共団体実行計画(区域施策編)の策定における課題

職員不足により、実行計画の策定に関する業務に十分な時間を割くことができない/業務負荷軽減の ために計画の雛型が欲しい

実行計画基礎情報登録機能を活用すれば、フォーマットに沿って入力するだけで実行計画に関する情報が登 **録可能**です。登録された情報は**帳票として出力する**こともできます。

會理等支援システム	回体名:システム管理用 🛓 下水道部 下水道課 テストユーザ事務局 ログアウト	そのまま公表いただける形で 帳票出力可能です。
実行計画 (区域施策編) 基礎情報 登録 入力内容が不明な場合はこちら 基本情報 必須な項目を入力してください。	計画名称、計画期間、基準/目標 年度、目標年度温室効果ガス排出 量等を登録することができます。	<ul> <li>(2) 区域の特徴</li> <li>以下に示す○○町の自然的・社会的条件を踏まえ、区域施策編に位置づけるべき施策の整理を行います。また、他の関係行政施策との整合を図りながら、地球温暖化対策に取り組むこととします。(以下は自然的・社会的条件の例示)</li> <li>ア 地域の概要</li> <li>○○町は、(地域の成り立ち、位置、面積など)となっています。</li> <li>イ 気候概況</li> </ul>
実行計画名     必須     実行計画名を入力       策定・改定年月     必須     年を選択、     年       計画明問     必須     年を選択、     年       最終改定年度     (1)     2017     年度       基準年度     必須     例)     2017     年度	月 月 ~ 年を選択 <b>、</b> 年 月を選択 <b>、</b> 月	<ul> <li>○○町周辺の気候は、xx(山間部、海沿い、平野部など土地条件を踏まえた特色等(日照時間,降雪量、寒暖差など)を記載)であり、また、長期間の気象観測データがある○○気象観測所の年平均気温の推移をみると、~という傾向が現れています。</li> <li>ウ 人口と世帯数</li> <li>○○町の人口は、国勢調査によると○○傾向にあり、xx年xx月xx日時点の人口はxx人、世帯数はxx世帯、年齢別ではxxのような特徴がみられます。</li> <li>エ 地域の産業の動向</li> <li>○○町の就業人口からわかるように、基幹産業は○○業であり産業別付加価値額としてもxx円、このことからも○○業が○○町の経済全体に及ぼす影響が大きいことが分かります。</li> </ul>
基準年度温室効果ガス排出量 必須 日標年度 必須 日標年度 必須 一覧に戻る 日標年度温室効果ガス排出量 必須 日標年度温室効果ガス排出量 必須 日標年度温室効果ガス排出量 必須	<ul> <li>フォーマットに沿って必要事項を入力</li> <li>した後、登録内容は帳票出力することができるため、実行言値の策定に係る</li> <li>負担を軽減できます。</li> </ul>	(3)計画期間 ○○実行計画(区域施策編)の基準年度、目標年度、計画期間について、2013年度を基準 年度とし、2030年度を目標年度とします。また、計画期間は、策定年度である2022年度の翌 年である2023年度からの8年間とします。



#### LAPSS機能のご紹介 LAPSSの機能概要(区域施策編)

••

2. 地域脱炭素化促進事業に関する事項

情報管理が一元化されておらず、引き継ぎがうまくいかない

地域脱炭素化促進事業の管理における課題

地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項等を登録・管理可能です。 地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項(市区町村) 登録 必須な項目を入力してください。 地域脱炭素化促進事業の目標 [11] ? 地域脱炭素化促進施設の目標、促進区域、 地域脱炭素化促進施設の種類などの各情報を 促進区域(大分類) 必須 🛜 促進区域を選択 V 登録できます。 地域脱炭素化促進施設の種類(中分類) 地域脱炭素化促進施設の種類を選択  $\sim$ 必須 ? 地域脱炭素化促進施設の規模(小分類) 地域脱炭素化促進施設の規模を入力 必須 ? 促進区域(詳細情報) 🖽 ? 促進区域(地図) (任意) ? 選択されていません マファイル拡張子がjpg, jpeg, png, bmp, gif, zipのファイルを指定してください。 ファイルサイズの上限は10MB以内となります 地域の脱炭素化のための取組 任意 ? 地域の環境の保全のための取組「部門」「覧に戻る

#### LAPSS機能のご紹介 LAPSSの機能概要(区域施策編)

(

3. 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定支援機能

◆ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定における課題

温室効果ガスの排出削減のために取り組む対策について管理できていない

団体で実施している温室効果ガス削減に向けた対策・施策を、部門・分野ごとに設定することが可能です。 部門・分野ごとに主要な対策・施策リストがあらかじめLAPSSに登録されているため、今後の対策・施策の 検討に活用いただくことも可能です。

部門・分野に対する対策・施策 一	
部門 - 分野:	対策・施策追加
実行計画名:	施策分類  遊類  施策分類を選択
実行計画の計画期間:	施策項目 <mark>必須</mark> 先に「施策分類」を選択してください。
	館第 <mark>29 2</mark> 施策を入力
	対策・施策ごとに、実施時期・具体的内容・費
施黨分類 施黨項目	<sup>施</sup> 業時期 2023 → <sup>年度</sup> ~ 任意で設定 → <sup>年度</sup> 用等の情報を設定できます。
低灰素社会美行計画の若美な美施と評価・検証 低灰 ************************************	施策時期は、実行計画の計画期間内で入力してください。 実行計画の計画期間:2023年03月~2023年03月
「自エイルキー」IEEUの高い。2月間・1888の年入1999年、 プ製造技術の導入	指標 任 1 指標 2 入力
	目標 確認 目標を入力 目標の単位 で 入力 目標の単位 で 入力
	具体的な内容 任為 具体的な内容を入力
	初期費用 (133)
	這用費用 <b>任意</b>
	補助金 [[5]
	キャンセル 登録

#### LAPSS機能のご紹介 LAPSSの機能概要(区域施策編)

•

### 4. 排出量・活動量データ管理・集計機能

◆ 排出量・活動量データの算定・集計における課題

排出量・活動量データの管理や精査に手間がかかる

部門・分野別に推計した、年度の温室効果ガス排出量を、ガス種別毎に**登録・管理が可能**です。 また、推計に用いた活動量の実績値も併せて管理することが可能です。 登録された情報は<mark>帳票として出力</mark>することもできます。

ガス種類別排	出量の表示	ガス種類別 CH4、N2 NF3)ごと	別の温室効男 O、HFCs、F ここ設定可能	見ガス PFCs <sup></sup>	(CO2、 、SF6、	活動量1	史新	
ガス種	部門·分野		合計		推計手法	前年度値		
			500	t-C02	都道府県別按分 🗸			
	產業部門	製造業		t-C02	推計手法を選択 🖌			推計手法についても選択可能
	查末时 J	建設業・鉱業		t-CO2	推計手法を選択 🖌	•		
		農林水産業		t-C02	推計手法を選択 🖌	-	-	
	業務その他部門		100	t-C02	都道府県別按分 🖌	•	-	
	家庭部門		100	t-C02	都道府県別按分 🖌	-	-	
エネルギー起源CO2			200	t-C02	全国按分法【標 🖌	-	-	
		自動車(貨物)		t-C02	推計手法を選択 🖌	-	÷	



### LAPSS

# 地方公共団体実行計画策定・管理等システム (LAPSS)操作説明

※本日の操作勉強会ではLAPSSの実際の画面を投影しながら、操作をご説明いたします。

※本日ご紹介した操作概要については、以下URL掲載の資料にも記載しております。あわせてご確認ください。 https://www.lapss.env.go.jp/lapss/help/help.html

事務事業編(事務局): ユーザーズガイド(事務局編)Ver2.4 事務事業編(施設管理部局): ユーザーズガイド(施設管理部局編)Ver3.3

区域施策編:

ユーザーズガイド(区域施策編) Ver1.2

	LAPSS機能のご紹介						
	LAPSSの機能・	一覧(事務事業編) ※2024年7月時点 🔶 : 今回重点的にご説明する機能 再掲					
	マスタデータの 一括登録機能	✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録					
	実行計画策定 支援機能	計画策定 援機能 ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能					
	脱炭素に資する 措置の設定機能	✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定 →措置分類、削減目標、導入費用等を管理					
1	「 活動量データ 登録機能	✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ(実績値)を登録 ※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能					
	他団体比較機能	✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能					
1	】 排出量・活動量 算定・集計機能	<ul> <li>✓ 排出量・活動量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能</li> <li>✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能</li> <li>✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能</li> <li>✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能</li> </ul>					
	措置の自己評価・ 点検結果登録機能	✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施					
7	入力依頼・督促 メール配信機能	✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信					
	掲示板閲覧・ 投稿機能	✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした 団体内掲示板機能を利用可能					





問い合わせ窓口に多く寄せられる質問、前回までの操作勉強会で出た質問をとりまとめています。

#### ● <u>LAPSSへのログイン</u>

Q:LAPSSにアクセスした際、「このサイトは安全ではありません」というセキュリティに関するエラーが表示される。

A:暗号化通信に必要な証明書がパソコンのブラウザにインストールされていない場合、このようなエラーが表示されることがあります。システムへの通信は暗号化されている(https通信されており、あらかじめパソコンのブラウザに証明書をインストールしておく)必要があります。インストールする証明書および手順に関して、貴団体の情報システム部門にお問い合わせください。

Q:新規に追加されたユーザーアカウントでLAPSSへ接続する際のID、PWは当初のものと一緒になりますか?

A:アカウントごとに固有のID(メールアドレスを利用)、PWを発行いたします。なお、同一メールアドレスを複数アカウントに利用することはできませんので、ご注意ください。

Q:パスワードの設定、再設定を行ったが、入力したメールアドレスにメールが送られない。

A:サーバーの状態によって、メールの受信にお時間を要する場合があります。また、団体のセキュリティ設定によりメールが受信 できない場合もありますので、メールの受信設定等をご確認ください。また、システムに登録したメールアドレスに誤りがある可能 性もあるため、改めてシステムに登録したメールアドレスに誤りがないかご確認ください。

Q:ユーザーアカウント情報、施設・設備情報を変更したい。

A: (ユーザーアカウント情報)「マスタ設定」の「ユーザーアカウントを設定する」画面から、変更したいアカウントの「編集・削除」ボタンをクリックして下さい。必要に応じて内容を更新し、「更新」ボタンをクリックして下さい。 (施設・設備情報)「マスタ設定」の「施設・設備を設定する」画面から、変更したい施設・設備の「設定・削除」ボタンをク リックし、さらに「変更・削除」をクリックして下さい。必要に応じて内容を更新し、「更新」ボタンをクリックして下さい。

#### 質疑·応答 Q&A

### ● <u>活動量の入力</u>

Q:施設分類別の活動量入力項目を新規登録、削除したい。

A: トップページから「マスタ設定」>「既定の入力項目を設定する」より、施設分類別の活動量入力項目を新規登録、削除 することができます。

Q:活動量入力項目を、施設ごとに設定することは可能か。

A:施設分類別にご設定(「マスタ設定」>「規定の入力項目を設定する」)いただいた後、施設の設定(「マスタ設定」>「施設・設備を設定する」)から、施設ごとに不要な入力項目を「未使用」としてご設定いただけます。

Q:電力会社のメニュー名が複数あるが、どの項目を選択すればよいのかわからない。

A:事務事業編における温室効果ガス排出量算定にのみ本システムを利用している場合、該当する電力会社のいずれのメニューを設定いただいても問題ありません。なお、電力会社のメニュー名については、貴団体にて電力会社との契約内容をご確認いただく必要があります。

Q:活動量データ(月次実績)の入力を行いたいが、画面に「該当データが存在しない」と表示される

A:活動量データを登録するためには事前に活動項目を施設分類毎に登録する必要があります。活動項目の登録は事務局 権限のユーザでトップページから「マスタ設定」>「既定の入力項目を設定する」より登録できます。

#### 質疑·応答 Q&A

### ● <u>活動量の入力(続)</u>

Q:実績値を一括登録したいが、各施設のデータを1ファイルに集約しなくてはいけないか。

A:活動量データを登録する際には、必ずLAPSSの画面からダウンロードいただいたファイルをご利用いただく必要があるため、 お手数をおかけし恐縮ですが、各施設からのファイルを1ファイルにご集約ください。

Q:かんたん算定シートや一括機能実装前の環境省指定のデータ取り込み様式でLAPSS上に実績値を一括登録することは可能か。

A:活動量データを一括登録する際には、必ずLAPSSの画面からダウンロードいただいたファイルをご利用いただく必要があるため、データを加工していただく必要がございます。

Q:入力したデータについて、入力ミスがないか確認したいが、データの出力方法はあるか。

A:入力したデータについては、csv形式での出力が可能でございます。また過去分の入力データについても、遡って修正を実施することが可能でございます。



### ● <u>集計結果の分析・出力</u>

Q:集計結果のグラフや表をそのままコピーして報告書などに貼り付けることは可能か。

A:表の出力形式はcsv形式ですが、「団体内の排出量を集計する(月次/年度別)」ページで表示されるグラフや表の上で右クリックし、「名前をつけて画像を保存」を選択するとpng形式で保存することができます。

Q:施設を登録したが、その施設が廃止された場合の操作方法は。

A:「マスタ設定」>「施設・設備を設定する」から廃止したい施設をご選択いただき、画面右側の「設定・編集ボタン」>「変 更」を選択すると開く「施設情報 変更・削除」ページの「制度対象期間」の廃止年度欄をご記入ください。

Q:年度途中で施設が移管され、施設情報から施設所管課室の情報を変更した場合、集計等に影響する可能性はあるか。

A: 施設のマスタ設定で施設管理課室を変更すると、過去の排出量分も含めて移管先部署の排出として記録されます。過 去排出分は移管前部署の排出として管理されたい場合には、該当施設をLAPSS上で廃止登録(「施設情報 変更・削 除」ページの「制度対象期間」の廃止年度を追加)し、移管後の施設は移管先部署が所管する新施設としてご登録ください。

Q:他団体の情報を確認できるとのことだが、自団体で各施設ごとに公開範囲を定めることはできるか。

A:LAPSSは団体の取組のノウハウ共有のためにも活用していただきたいと考えているため、現状では公開範囲を制限する機能は設けておりません。



### ● <u>その他</u>

Q:団体内掲示板はファイル添付は可能か。可能な場合、添付可能な最大データサイズは。

A:可能です。ファイル数は5件まで、合計10MBまで添付いただくことが可能です。

Q:実際の利用開始が登録年度の翌年になっても問題ないか。

A:作業負荷軽減の観点からも登録後できるだけ早く利用を開始していただくことが望ましいですが、利用開始が遅れることで 再登録申請や機能制限等の問題が発生することはございません。

Q:施設管理部局へ説明する際に利用できる資料はあるか。

A:環境省のウェブサイトにて、LAPSS操作勉強会の録画・資料を掲載しております。また、LAPSSログイン画面の「LAPSS」 上の操作でお困りの方はこちら」からユーザーズガイドを閲覧いただけます。LAPSS専用の問い合わせ窓口も設置しております。

### <sup>ご参考</sup> マニュアル・支援ツール等の一覧

### ● <u>マニュアル類</u>

### ユーザーズガイドで基本的な機能を確認し、より詳細を知りたい場合にはシステム操作手順書をご参照いただけ ますと幸いです。

→<u>https://www.lapss.env.go.jp/lapss\_test/help/help.html</u>

- ▶ ユーザーズガイド:事務局・施設管理部局向けをそれぞれご用意しております。
- ▶ システム操作手順書:より詳細に操作や機能を確認したい際にご利用ください。

### ● <u>動画での操作説明</u>

### 支援サイトでLAPSSの操作デモ動画を公開しております。

▶ 支援サイト(操作勉強会):主要な機能の操作デモの録画を公開しております。 →<u>https://www.env.go.jp/policy/local\_keikaku/shien4.html</u>

### ● 問い合わせ窓口

### LAPSSの操作についてご不明な点がございましたら、お問い合わせ窓口をご利用ください。

- ▶ 【お問い合わせ窓口(ミツイワサポートサービスセンター)】
  - 電話番号:050-3354-6686
  - メールアドレス: lapss-helpdesk@mitsuiwa.co.jp

#### ● <u>庁内等での説明資料</u>

### 支援サイト上で、LAPSS説明会の資料を公開しております。

LAPSSの基本機能に加えて導入団体の声や成果についても紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

→<u>https://www.env.go.jp/policy/local\_keikaku/shien4.html</u>